＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	長期に住まう　エコ・ハウス
グループの名称	岩手家づくり友の会
直近採択グループ番号	--

（グループ代表者）

代表者名	上遠野　光一	代表者印
代表者所属先	有限会社上遠野工務店	
代表者所在地	岩手県岩手郡葛巻町江刈34-123	
代表者電話番号	0195-68-2526	

（グループ事務局）

事務局事業者名	三協テック株式会社	
事務局担当者名	鈴木　公樹	印
事務局郵便番号	028-6103	
事務局所在地	岩手県二戸市石切所川原33-2	
事務局電話番号	0195-23-6831	
事務局FAX	0195-23-6832	
事務局担当者E-mail	k-suzuki@st-grp.co.jp	

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	長期に住まう　エコ・ハウス
２．グループの名称(必須)	岩手家づくり友の会
３．直近採択グループ番号(必須)	--
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県
５．結成年(必須)	2018　年
６．グループ代表者名(必須)	上遠野　光一
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社上遠野工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	岩手県岩手郡葛巻町江刈34-123
９．グループ代表者電話番号(必須)	0195-68-2526
１０．グループ事務局事業者名(必須)	三協テック株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	鈴木　公樹
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	028-6103
１３．グループ事務局所在地(必須)	岩手県二戸市石切所川原33-2
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0195-23-6831
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0195-23-6832
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	k-suzuki@st-grp.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	1	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	5	棟	
			630	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	各社最低1棟は取り組めることを基本とし、それ以外については、物件の見込み度で判断し、配分する。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	戸
	優良建築物型					
	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	戸
	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
34	Ⅰ － 4	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0823-71-7141
11	Ⅰ － 6	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森181番地	0494-22-2821
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 3	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
11	Ⅱ － 6	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森181番地	0494-22-2821
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
16	Ⅲ － 1	三協テック株式会社		933-8610	富山県高岡市早川70番地	0766-20-2800
23	Ⅲ － 7	大日本木材防腐株式会社		455-0031	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目3番17	052-661-1502
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
4	Ⅳ － 5	株式会社タカカツ		989-6255	宮城県大崎市古川休塚字新西田38-1	0229-28-1000
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
10	Ｖ － 2	佐下橋設計室		373-0817	群馬県太田市飯塚町1550	0276-40-1247	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							5	○	○
3	Ⅵ - 8		有限会社上遠野工務店		028-5403	岩手県岩手郡葛巻町江刈34－123	0195-68-2526	○	
3	Ⅵ - 9		株式会社橋本工務店		029-0803	岩手県一関市千厩町千厩字岩間36－1	0191-53-2185	○	
3	Ⅵ - 10		有限会社東山建設		028-5303	岩手県二戸郡一戸町小友字釜屋敷37－1	0195-33-1459	○	
3	Ⅵ - 11		株式会社中舘建設		028-6104	岩手県二戸市米沢字荒谷30-5	0195-23-3311	○	
3	Ⅵ - 12		株式会社ケーテック		020-0887	岩手県盛岡市上ノ橋町4-26	019-653-5095	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
3	Ⅵ－ 8		有限会社上遠野工務店	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 ㎡	0 ㎡	3以下	3以下	3以下		○	
3	Ⅵ－ 9		株式会社橋本工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 ㎡	0 ㎡	3以下	3以下	3以下		○	
3	Ⅵ－ 10		有限会社東山建設	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 ㎡	0 ㎡	3以下	3以下	3以下		○	
3	Ⅵ－ 11		株式会社中舘建設	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
3	Ⅵ－ 12		株式会社ケーテック	5 戸	5 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）長期に住まう　エコ・ハウス	（地域型住宅供給対象地域）岩手県
２．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）岩手家づくり友の会	（結成年）2018　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	－－	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	冬季において積雪が多くなるエリアの為、すべての住宅に対して構造計算を行い、耐久性を高めた住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	寒冷地の為、断熱性を高める必要があり、様々な性能の高い断熱材を採用する事を想定し、木造軸組み工法とする。　また、地震に備えて地盤調査を必ず行う事と、耐力壁の充実・バランス及び金物の配置を考慮した住宅とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	気候の厳しい時期である夏季・冬季において、少ないエネルギーにて快適な空間を作るために、熱交換型の換気システムを取り入れる様にする。	○
④ ①～③の背景	岩手県は南北に長く、海岸沿い、山間部によっても気候が異なるが、「夏季は暑く、冬季は寒い」というのは共通しているため、断熱性能を高める必要がある。また、突発的な災害も比較的多い為、耐久性のある家づくりも必要と思い考えている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	定期的に勉強会・情報共有する会を実施し、物件ごとの進捗及び現場見学会などのイベント管理を行う。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：共通の仕様書を用意し、活用を推奨している。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：共通の仕様書を用意し、活用を推奨している。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：共通の仕様書を用意し、活用を推奨している。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ内で購入先を選定し、共通価格を設定する。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：共通書式の発注書を使用する。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：受発注から勉強会の運営を行い、具体策も取りまとめと周知を行う。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：共通の施工マニュアルを設定し、それに基づいて施工することとする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：工事管理のチェックリストを用意し、事務局主催の検査を実施する。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：エンドユーザーに分かり易く、明確に提示すべく共通の積算システムを使用する。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：万が一、構成員が倒産した場合、建築中の現場が中断してしまったり、着工金の過払いが発生してしまったりとリスクが生じる。その不安を払拭させるため、完成保証を全物件に付保するものとする。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：取り組みをしている。	
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：研修会時に情報交換の場を設定し共有化をする。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：加入済みである。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：現場入場時に危険予知・体調確認を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		瑕疵保険の団体検査員の資格を所得している構成員は、自社現場以外の物件に関しても検査を行い、グループ内での現場省力化を図る。また、好事例は都度事務局よりグループ内に発信する。			○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）長期に住まう　エコ・ハウス	（地域型住宅供給対象地域）岩手県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）岩手家づくり友の会	（結成年）2018　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	―	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	■ ない　□ ある → 内容：	
		①-2 情報サービス機関の活用	■ ない　□ ある → 内容：	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	■ ない　□ ある → 内容：	
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：　共通の定期点検システムを採用するようにする。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：　各社の補修ルールを取りまとめ、運用しやすく信頼性の高い内容を作る	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない　■ ある → 内容：　点検補修後、事務局に対する報告書式を作成し運用する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない　■ ある → 内容：　引き渡し後によく起こる事象の紹介や対応方法を共有する。年2回実施	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない　■ ある → 内容：　大工などの職人による木工教室や家具製作教室を実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない　■ ある → 内容：　地域の銀行と連携し、資金セミナーを実施する。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない　■ ある → 内容：　勉強会・検討会にてメンバーを決める。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない　□ ある → 内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない　■ ある → 内容：　倒産不安の払拭させるため、完成保証を全物件付保する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない　■ ある → 内容：　指定保険法人の住宅安心保証を招き、具体的な事例と対策について勉強会を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ．グループの技術力の向上

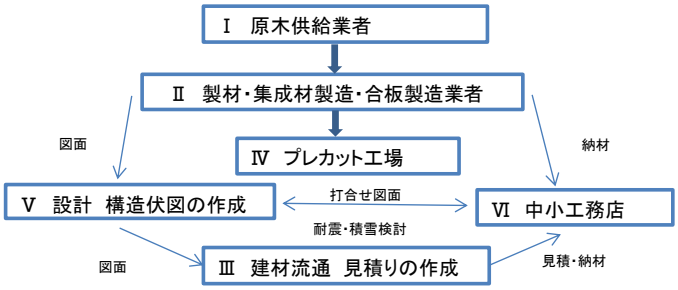
【平成30年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない　■ ある → 内容：　1棟目着手前に外部講師に依頼し、座学及び現場研修を実施する。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：　共通の技術マニュアルを使用し、品質担保を管理する。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない　□ ある → 内容：	
	③-1	需給計画の策定	□ ない　■ ある → 内容：　グループ内での会議にて都度計画棟数を確認し、グループの棟数として策定する	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない　■ ある → 内容：　外部講師による検査を通して改善点を抽出・是正し、チェックリストを作成管理する。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない　■ ある → 内容：　事務局を中心に、好事例などを共有する機会を設ける。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　5　今年度の参加目標人数　3	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　5　今年度の参加目標人数　3	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない　■ ある → 内容：　現場勉強会を実施し、その場で受講促進を行う。	○
c	①	新たな技術等の導入	■ ない　□ ある → 内容：	
	②	新たな技術等の開発	■ ない　□ ある → 内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）長期に住まう　エコ・ハウス	（地域型住宅供給対象地域）岩手県	
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）岩手家づくり友の会	（結成年）2018 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	--		

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	国産材・海外産と共に合法木材認定制度の認証を受けた木材を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：製材業者より適宜情報を入手し、事務局より周知する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：共通の価格表にて運用し共有する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：製材業者より適宜情報を入手し、事務局より周知する。	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	該当なし	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	該当なし	

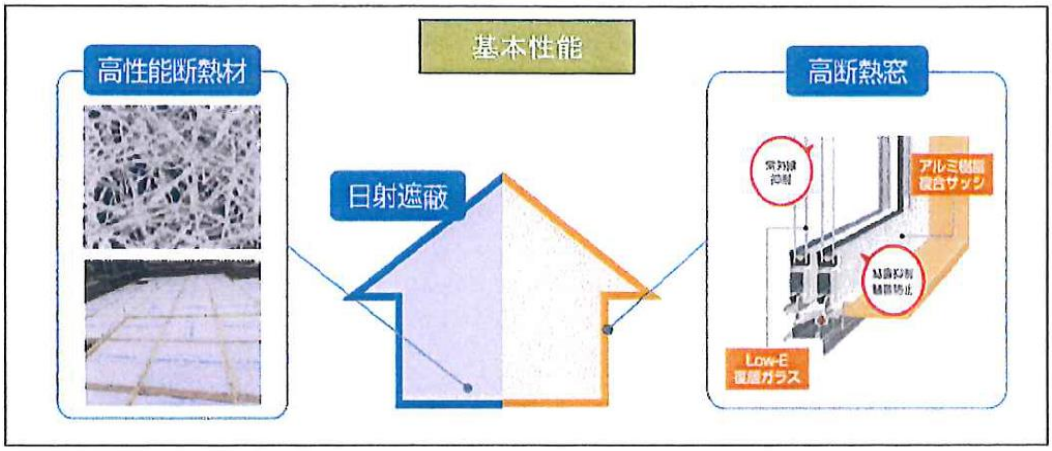
※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

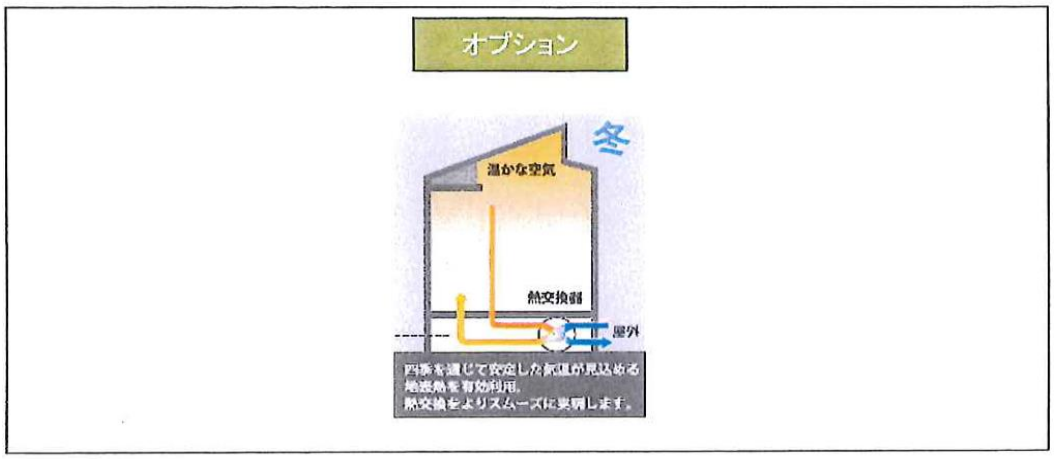
１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）長期に住まう　エコ・ハウス	（地域型住宅供給対象地域）岩手県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）岩手家づくり友の会	（結成年）2018 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	--	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



＋



※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。